

YOKOHAMA JUNKY

ADULT ONLY



ソロハンターの生態







食われちまえ

この物語はフィクションであり、実在の人物団体  
及びギギネブラの設定とか一切関係ありません





……

カキヤ

カキヤ

どうしてなの？



どうして  
ラギアクルスが  
こんなところに？





こんな事なら  
あの時……



あなたもそう  
思うでしょ？



いやー  
今日のクルベッコは  
強かったな

粉塵が  
無かったら  
ヤバかったぜ

まさに  
チームワークの  
勝利って感じよね



あんた達弱すぎ  
正直言って  
足手まといだわ



レベル低すぎ

え？



ちよっと私一人で  
行ってくる

お、おい



あんな事  
言わなければ  
良かった

皆が居れば見つからずに  
やり過ごせたかも  
しれない

資料でしか見た事の無い  
化物なのに  
どうしたらいいかなんて  
分からないわよ

とにかく  
出来るだけ  
距離を取って

隙を見つけて  
何とか逃げないと





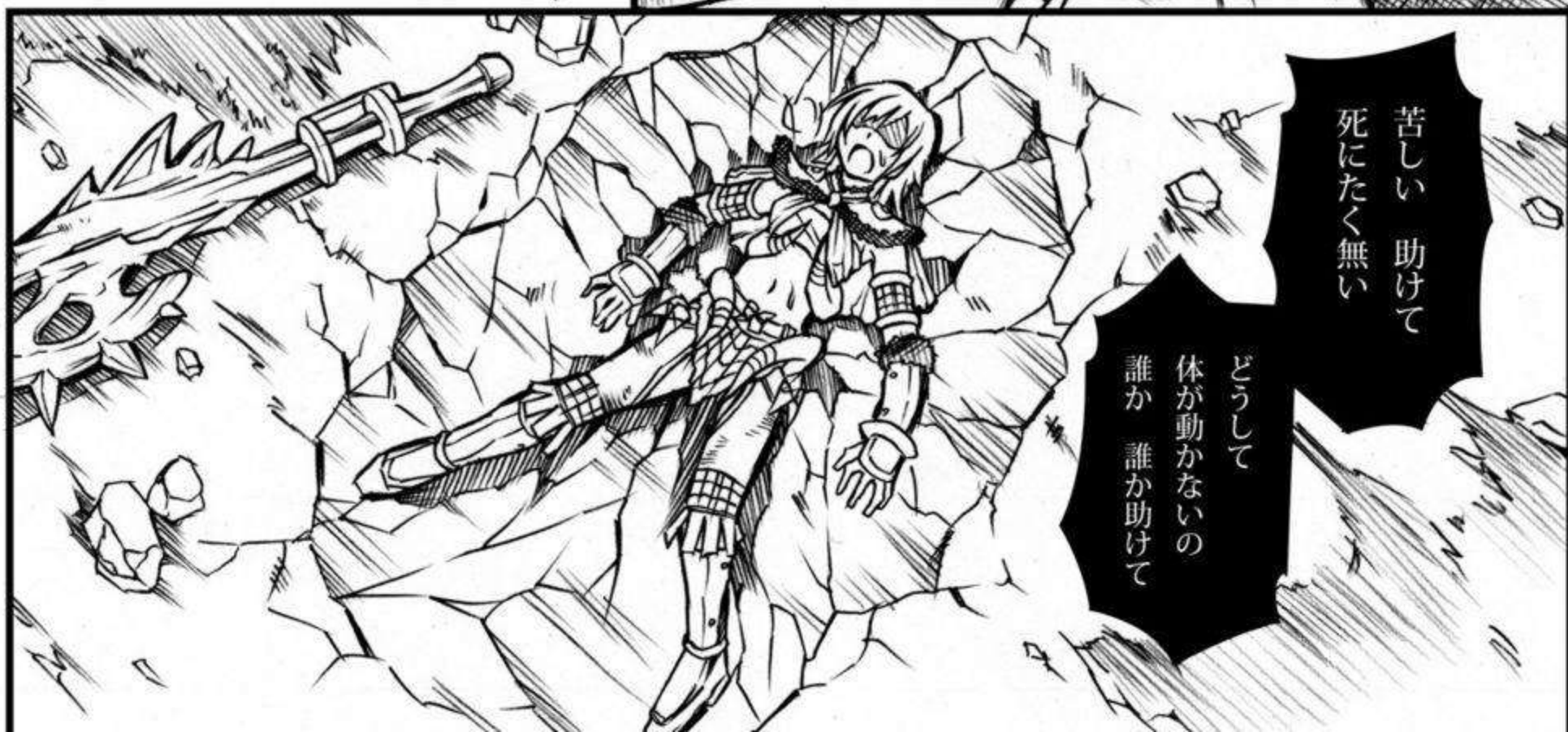
何が  
起こったの？



呼吸が出来ない



かはっ



苦しい 助けて  
死にたく無い

どうして  
体が動かないの  
誰か 誰か助けて





ギヤ  
イイ  
イイ  
イイ



あがあがあ



あ  
あ

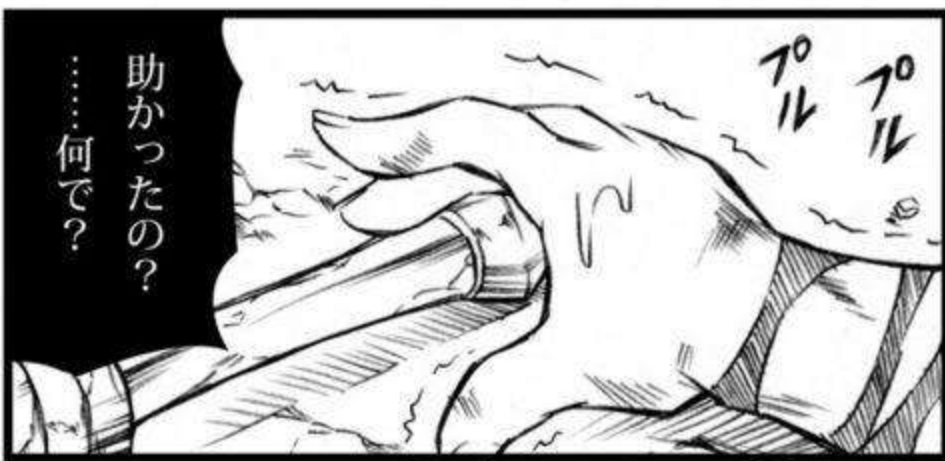
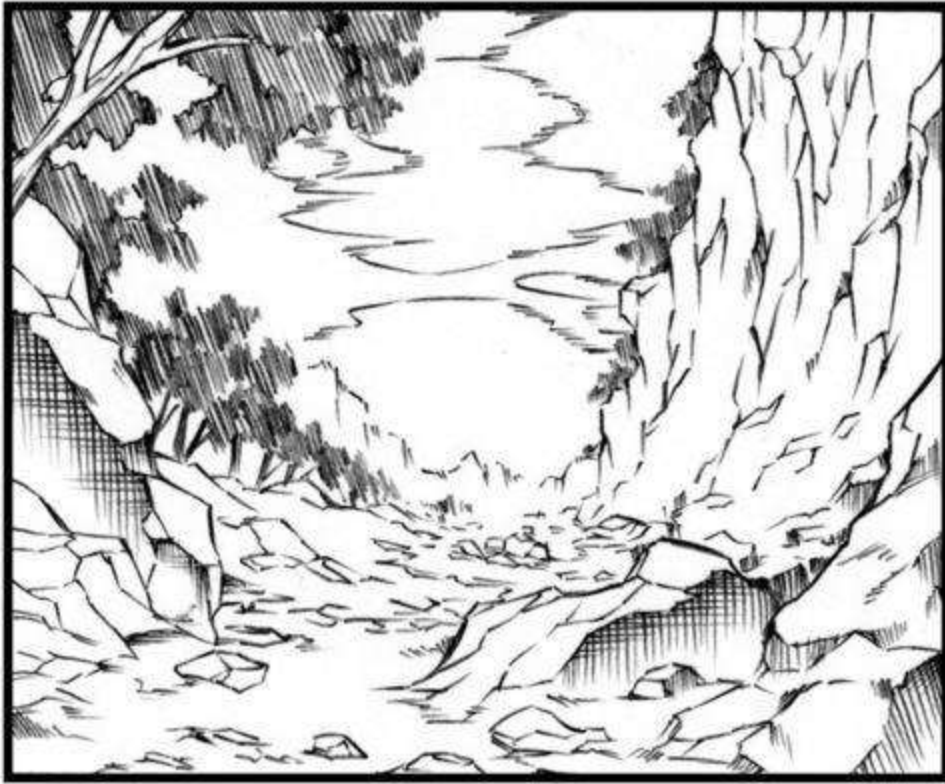
あ  
あ

ク  
ク  
ク





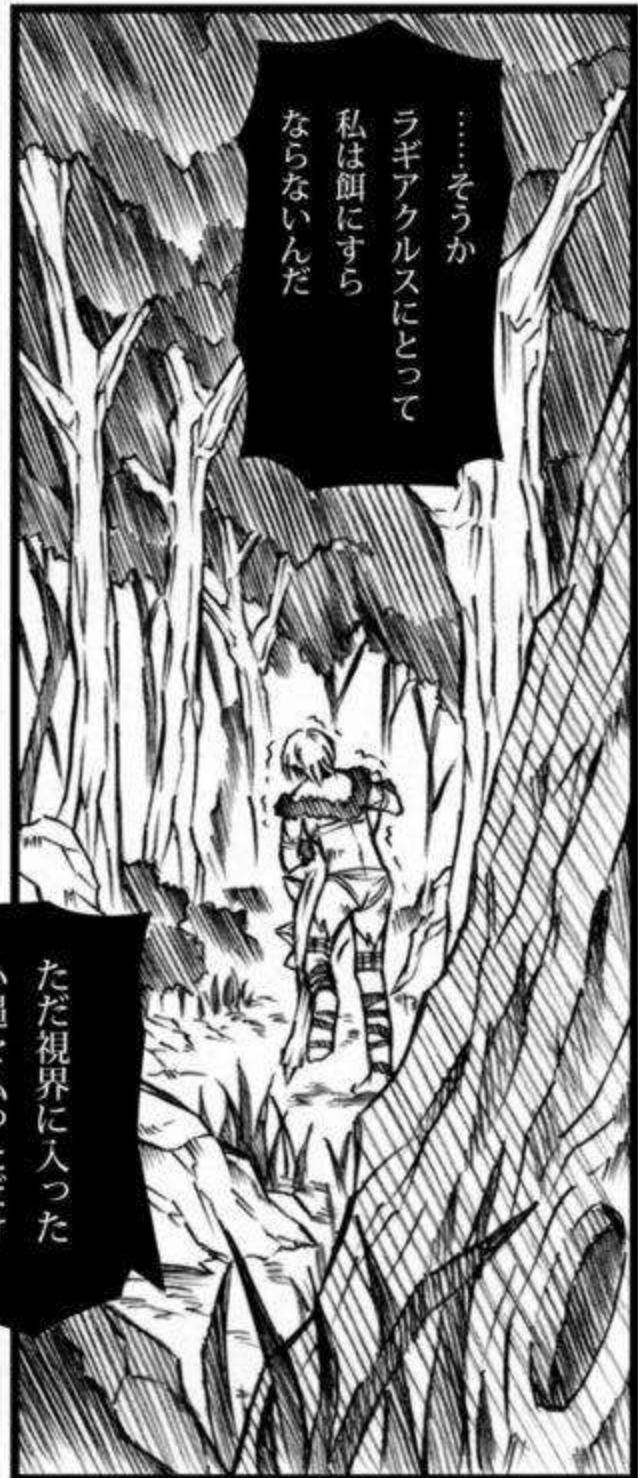




助かったの？  
……何で？



その程度の存在でしか  
無いんだ 私は



……そうか  
ラギアケルスにとって  
私は餌にすら  
ならないんだ

ただ視界に入った  
小蠅を払っただけ

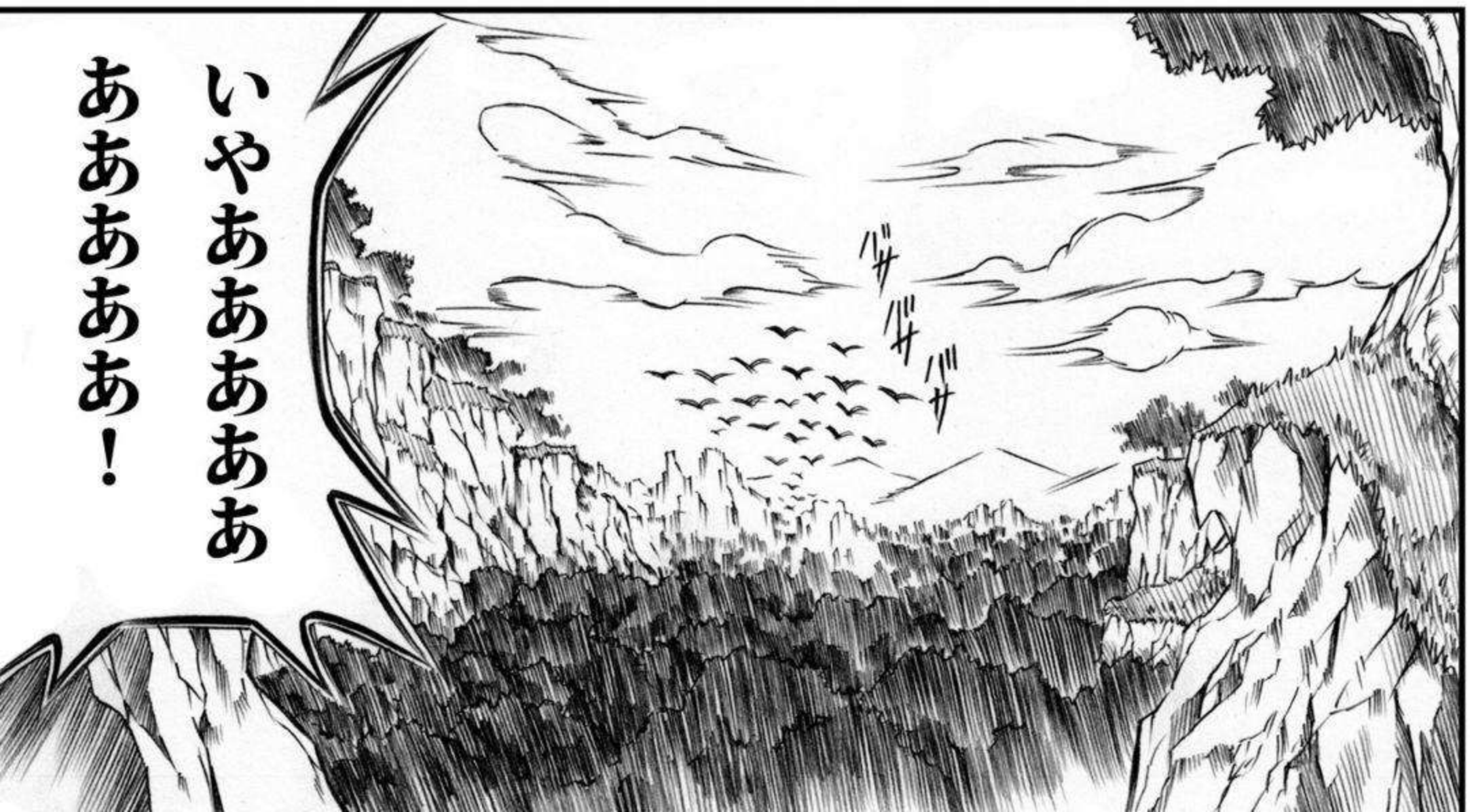
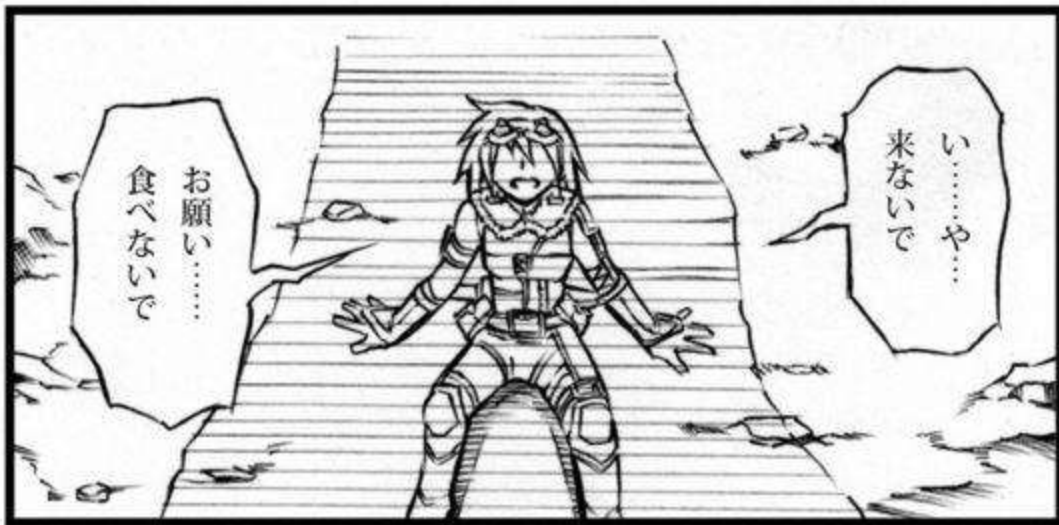
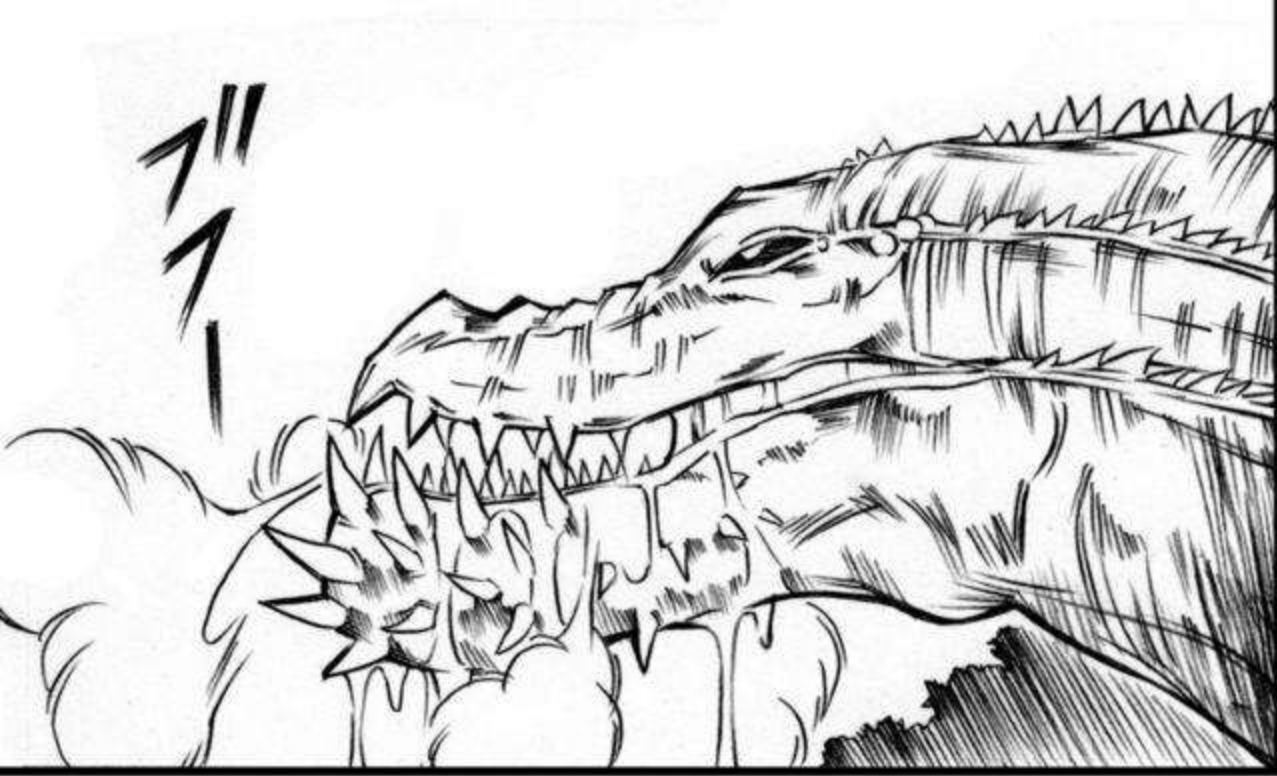








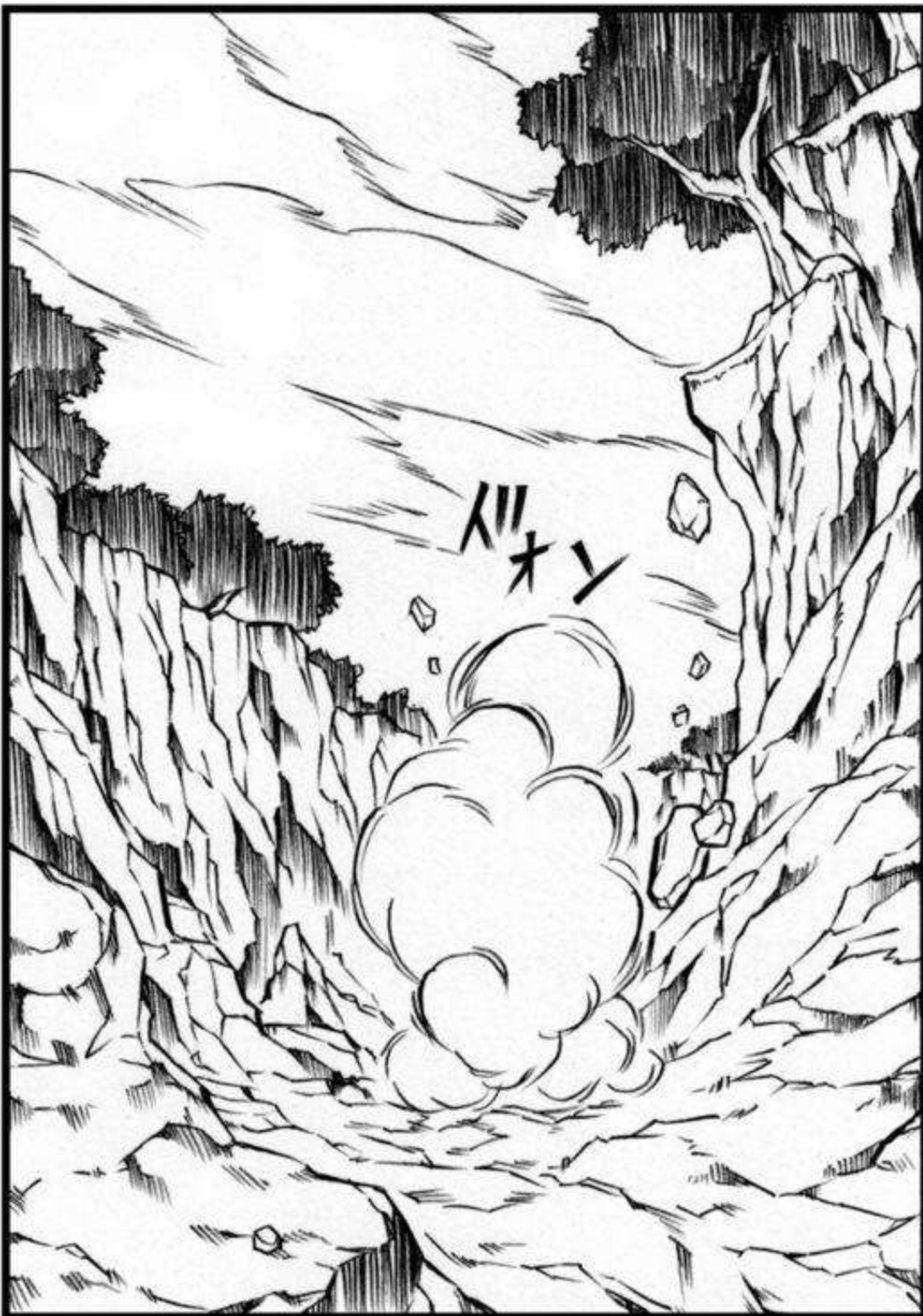
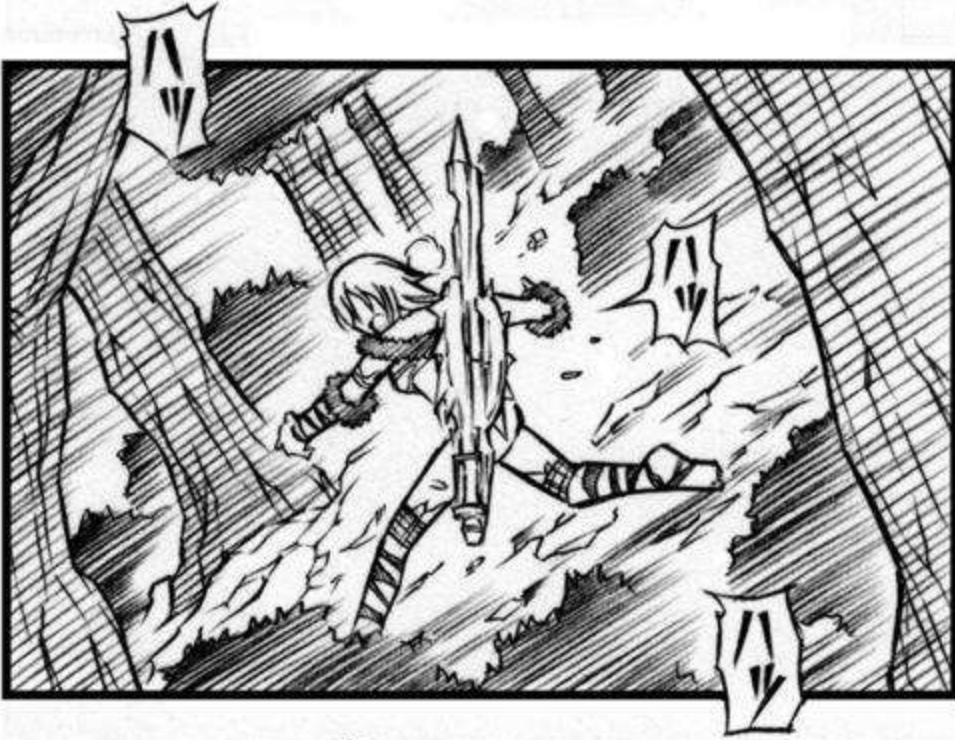




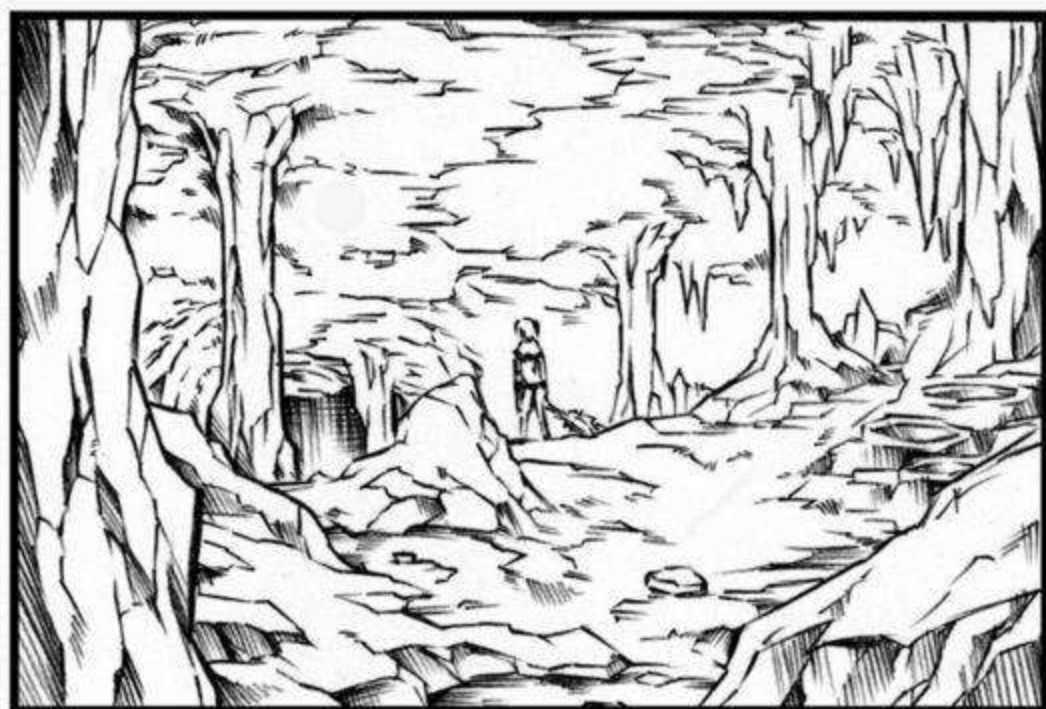








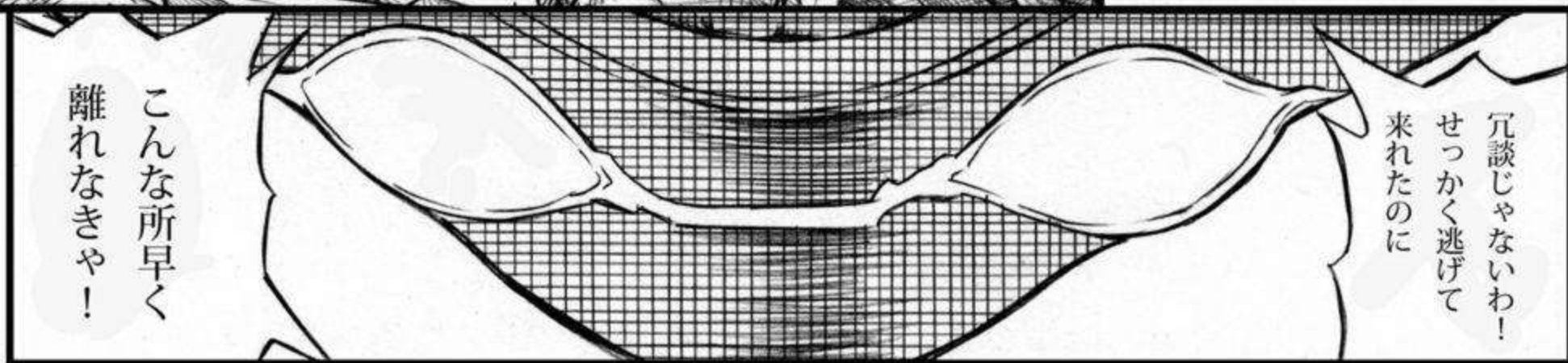








キギネブラの巣



こんな所早く  
離れなきゃ！

冗談じゃないわ！  
せっかく逃げて  
来れたのに





毒液をかけられた？  
ギギネブラの毒は  
猛毒のはずだわ

早く解毒剤を飲まないといや  
それより……何か変  
これは本当に毒なの？

ホタ

体の力が抜けて妙な気分……  
これが毒液の症状だって  
いうの？

媚薬じゃない！

ジワア

そんなわけ無い  
こんなの聞いた事無いわ  
これじゃまるで……

……とにかく  
逃げなきゃ

ここに居たら  
食べられちゃう

ホタ

ホタ





早く逃げ

ガク



やめ……



ヒッ！  
や  
やめ



ギイギは血を吸うって  
聞いていたのに  
噛み付きもせず  
針で刺しもしない

ただ肌に吸い付き  
味を確かめるように  
ニユルニユルと  
舐めまわすだけ

ひよっとしたら  
体液なら血でなくても  
いいのかもしれない  
私の足は汗と  
失禁したときの尿で汚れている





イヤアア  
アアアアア

ダメえ そこはダメ!  
入って来ないでえ!



やめてえ!  
やめてえええ!

狂っちゃろ  
狂っちゃろからあ







やあああ

んぎい

ひゃああ

ミル  
ミル

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

あ……

あ……あ

何度絶頂しただろう？  
無数のギイギが餌を  
求めて私の体に群がり  
膣や肛門に潜り込んで  
体液を吸る

私の体はあれだけ激しい  
絶頂を繰り返したというのに  
未だ甘い感覚に支配され  
もっと高い絶頂感を  
期待してしまっている

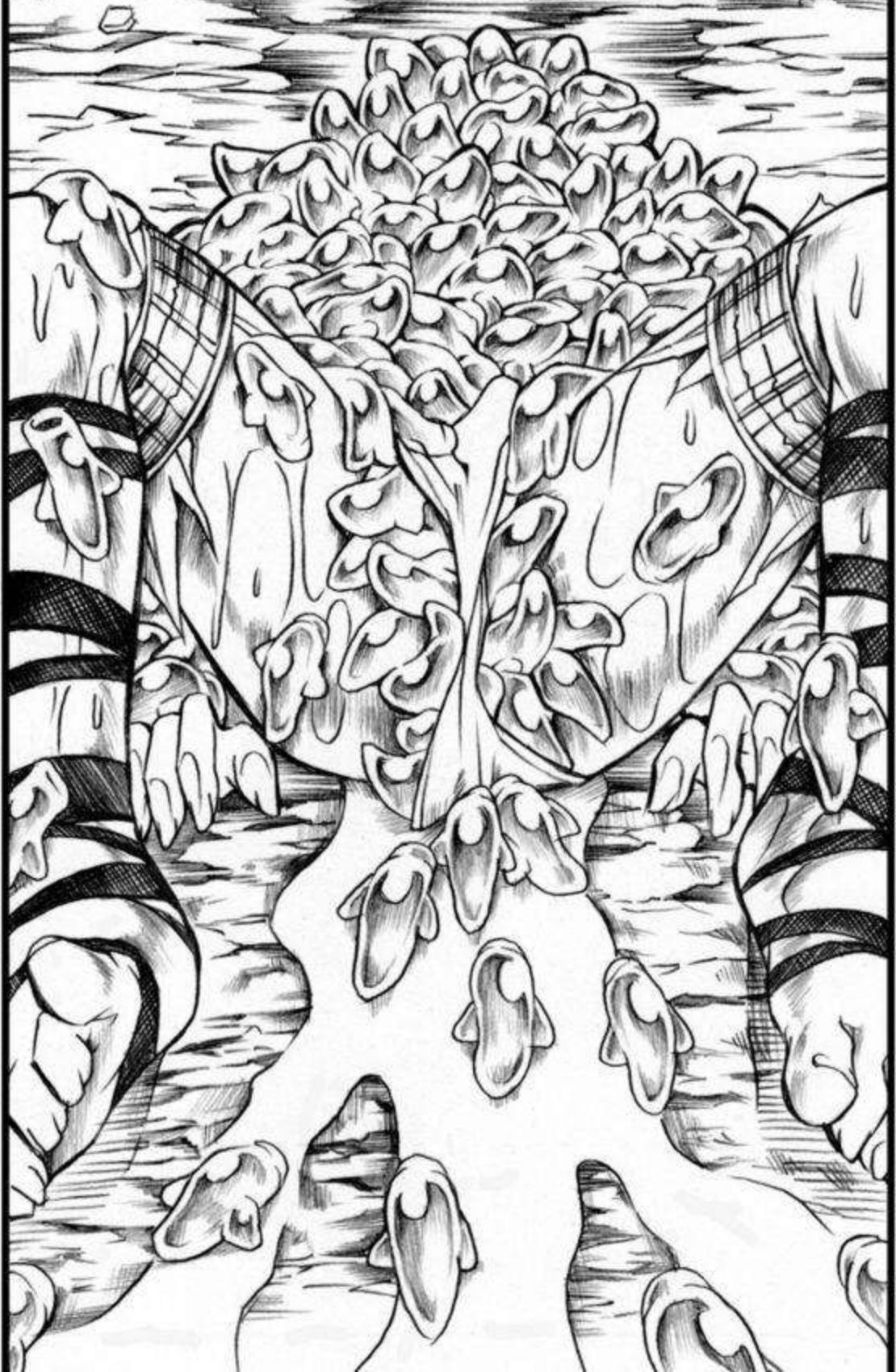
ギイギ達にとっては  
絶好の餌場なんだろう  
吸えば吸うほど体液が  
溢れてくるのだから

その期待に応えるかの  
ように更なるギイギの  
群れが私の  
汗に 尿に 涎に  
群がって来た











サアアア

ギギネブラは餌を  
生きたまま捕らえる  
と聞いた



ずっと不思議だったわ  
「あんなトロい  
モンスターにどうして  
捕まるの？」って



でも今なら分かる  
獲物達は自ら喰わ  
れる事を望むのよ

にゅばあ

開け放たれた不気味な  
口を見て 垂れ流される  
毒液の涎を見て  
期待に打ち震えるんだ

あ



当たり前よ  
一度味わってみれば分かるわ  
この世でこれ以上の  
悦楽なんかある筈がない

バク

セックスなんかじゃ絶対に  
たどり着く事の出来ない  
本物の絶頂を何度も  
甘受する事が出来るんだもの











上半身を包ま  
れただけで言いよ  
うのない幸福感が  
押し寄せて来る



まるで上半身全てが  
性感帯になったか  
のよう

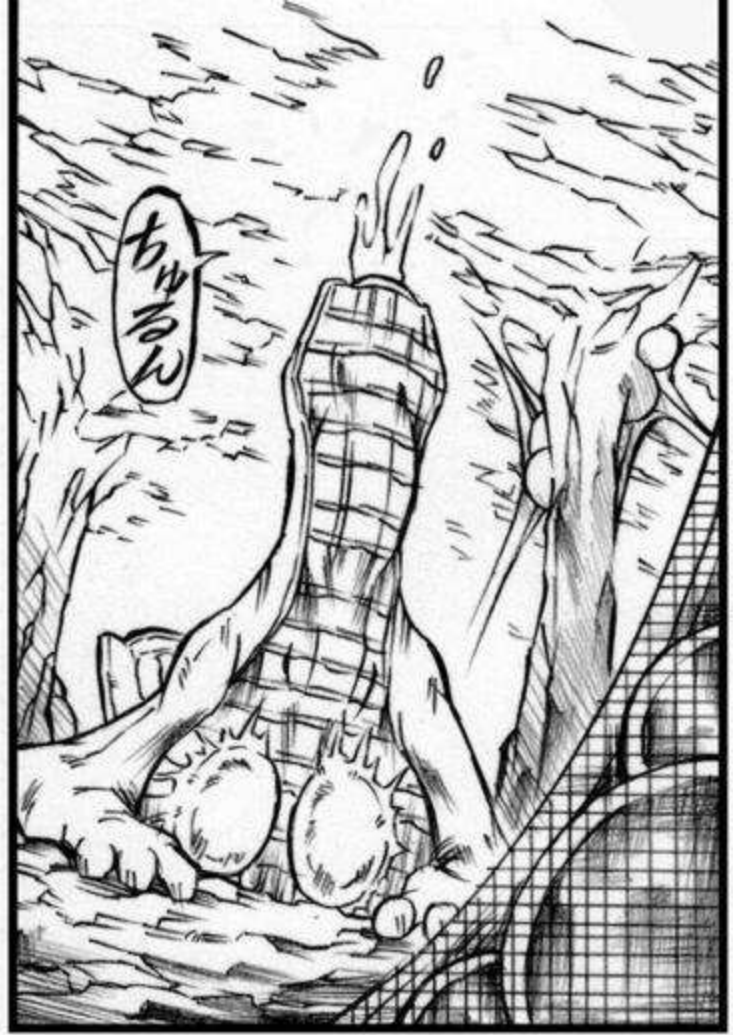
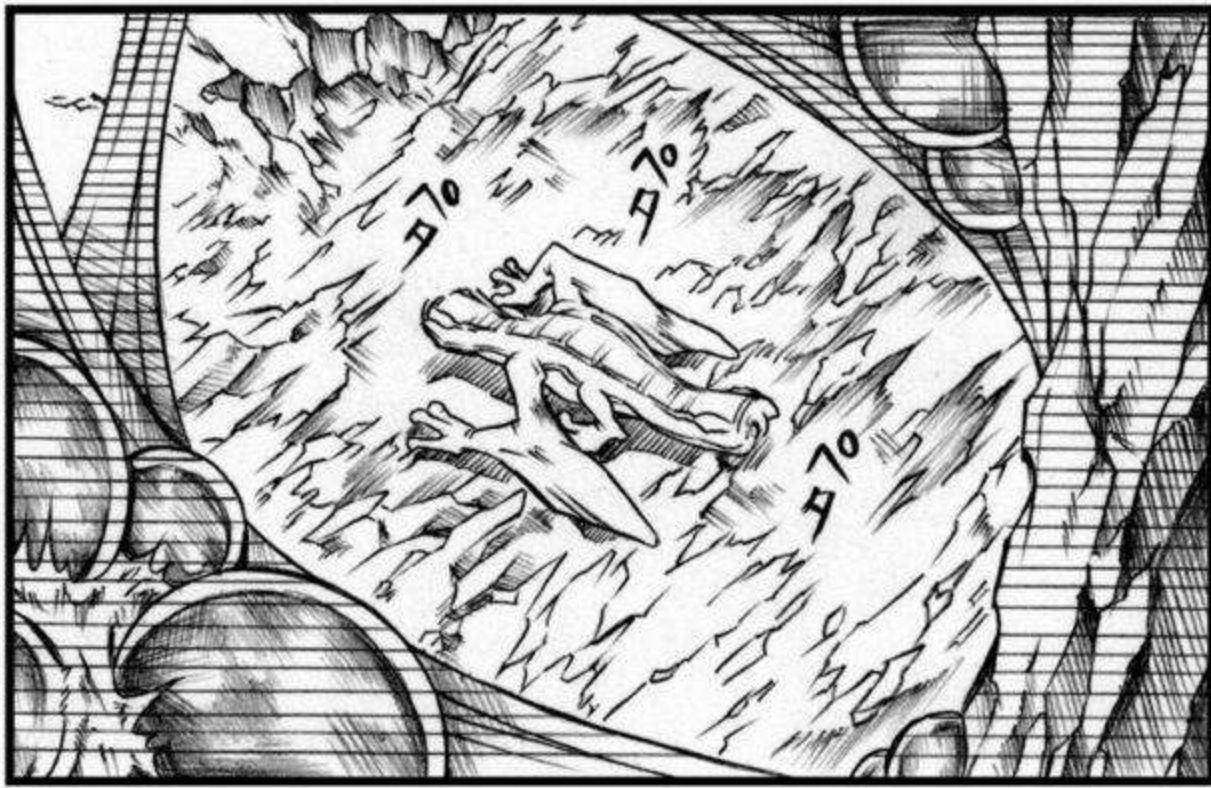


食べられてない  
下半身が切なくて  
仕方がない

早く……  
早く……  
早く……

早く  
食べてえ!!












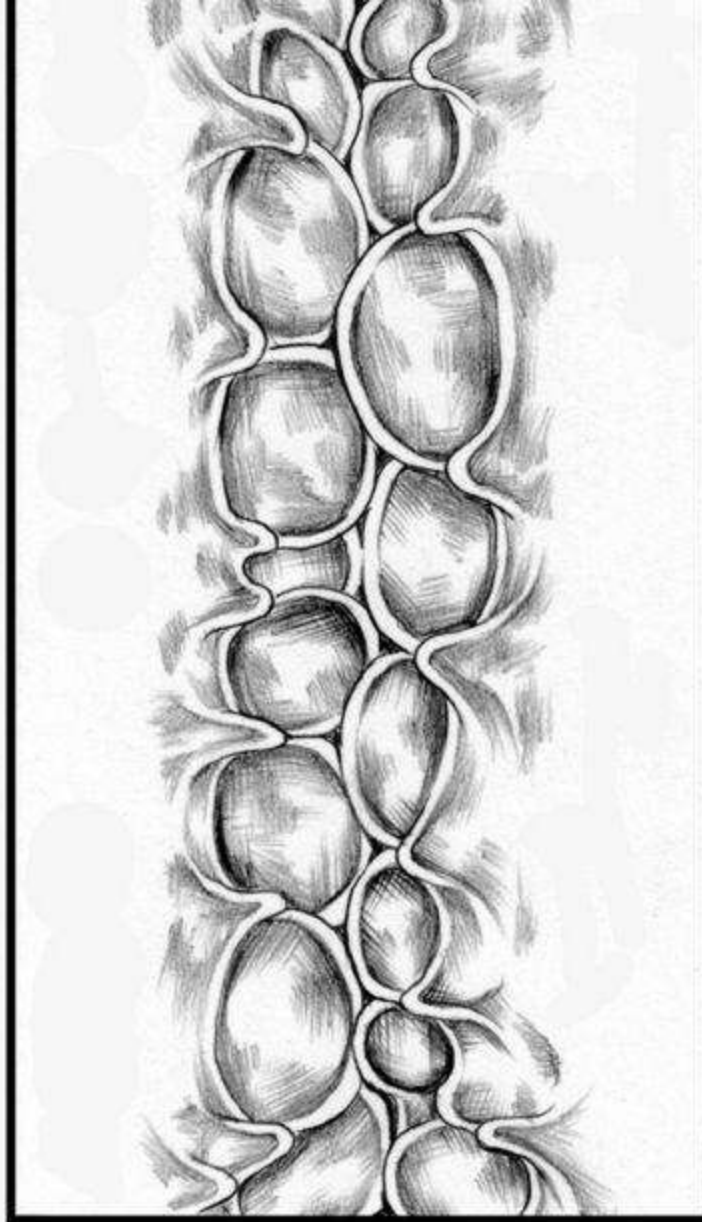


それでも  
助け出して欲しいなんて  
欠片も思わない

あと2日も天国を感じる事が  
出来るんだもの  
死の瞬間まで消化される  
喜びに浸っていたい

もつと溶かして!!  
私をドロドロにしてえ







ソロハンターの生態



## ソロハンターの生態

発行 Yokohama Junky

発行者 魔狩十織

発行日 2009.12.31

印刷 ねこのしっぽ

e-mail [yokohamajunky@gmail.com](mailto:yokohamajunky@gmail.com)

web <http://yokohamajunky.com/>





# 捕食注意！



本書は18禁です。18歳未満の閲覧を禁じます。

※本書には獰猛なモンスターが存在し、  
うっかり食われてる間抜けなハンターが描かれています。  
性的な描写を含む捕食行動に興味が無い方はご注意ください。